

①あいさつ(中学校)

『めざせ！あいさつの達人』

1. 展開案

過程	学習活動	教師の働きかけ	留意すること
わか る	1. 本時のめあてを知 る。	○みなさんは初めて会った人に対して最初に何をしますか。また、初めてではなくても、人に会ったときにまず、することは何ですか。挨拶ですね。 ○挨拶は相手との関係づくりのために、または会話のきっかけづくりのために行います。今日は、相手との関係をスムーズにスタートさせるための上手な挨拶の方法を練習します。	・「あいさつ」のスキルを身に付けることで、人間関係が一層うまくいくことに気付かせる。
	あいさつの達人になろう		
や っ て み る	2. モデリングを見て、あいさつのポイントを知る。 【モデリング】 Ⅰ うつむいて、小さな声で Ⅱ ポイントを意識して	○授業を進める上での約束を確認します。 ・ 恥ずかしがらない ・ 冷やかさない ・ よいところを見つける ○これから先生が2つの挨拶の仕方を実際にやってみます。どちらの挨拶のどんなところがよかったか、考えながら見てください。（「挨拶をする役」の人）に注目しましょう。 ○2つの挨拶の仕方のどちらがよかったですか。 ○2つ目の挨拶の仕方のどんなところがよかったですでしょうか。 ○あいさつのポイントをまとめましょう。相手の顔を見て、笑顔で、聞こえる声ではっきり、自分からあいさつをするといいですね。 【あいさつのポイント】 ・ 相手の顔を見て ・ 笑顔で ・ 聞こえる声ではっきり ・ 自分から	・ 約束が必要な理由を添えて説明する。 ・ モデリングは、ポイントが分かりやすくなるように演じる。 ※モデリングシナリオ参照 ・ 悪い点に注目するのではなく、よい点に注目させる。 ・ 提示するポイント以外で、生徒から気付きが出たら、それらも必要であることを伝える。 ・ イメージがつかみにくいポイントは分かりやすく例示して伝える。
	3. あいさつのポイントに気を付けながら練習①をする。 『あいさつゲーム』 ・ 30秒間、教室内を自由に歩き回る。 ・ 1回目は目が合っても、あいさつをせずに通り過ぎる。表情は変えない。（笑顔を見せない。） ・ 2回目はすれ違うとき、顔を見て、笑顔で、聞こえる声で挨拶をする。できたら2人でハイタッチをする。	○挨拶の練習をします。まず、練習①は『あいさつゲーム』を通して、あいさつのポイントの大切さを体験してみます。	・ 楽しく取り組ませ、ゲームの中で感じた気持ちを交流することで、練習への動機付けを図る。 ・ 『あいさつゲーム』の2回目は練習①になることを伝えて、ポイントを意識して行わせる。

<p>4. 全体で話し合い、練習①を振り返る。</p>	<p>○1回目と2回目、それぞれどのような気持ちでしたか、聞いてみましょう。体験してどのような気持ちになりましたか。</p> <p>○ふり返しシートに自己評価を記入しましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ポイントを使ってあいさつをされると、どのような気持ちになるかを押さえる。 ・ふり返しシートを配布し、記入させ、よかった点を振り返らせる。 <p>※ふり返しシート参照</p>
<p>5. 場面や相手が変わったときの挨拶を考える。</p>	<p>○友達への挨拶はよくできていましたね。今度は挨拶の相手を変えて、練習をします。ワークシートを見てください。</p> <p>○相手が変わるとどのように挨拶の仕方が変わるでしょうか。考えてみましょう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを示し、取り組ませる。 <p>※ワークシート参照</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ふり返しシートとワークシートは両面印刷をしておくとい。
<p>6. お辞儀の仕方を知る。</p> <p>①会釈 ②敬礼 ③最敬礼</p>	<p>○3種類のお辞儀の仕方を説明します。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ワークシートを示し、教師はお辞儀の角度が分かるように、横を向き3種類のお辞儀を例示する。
<p>7. あいさつのポイントに気を付けながら、練習②をする。</p>	<p>○では、校内で先生とすれ違ったとき、どのように挨拶したらよいのか、練習します。まず役割を分担します。始めに役割を決めますが、役割は交代してすべて体験します。</p> <p>○「先生役」「生徒役」の人は席を立てて練習します。「観察役」の人は、「生徒役」の人を見て、4つのポイントができているかどうかを観察してください。もし、ポイント以外にも良いところがあったら、覚えておいてください。</p> <p>○どの場面の挨拶にするかは「生徒役」の人が決めます。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「先生役」「生徒役」「観察役(2人)」の役割を分担させる。 ・「役は時計回りでまわす。」など、指示しておくでスムーズに練習できる。 ・練習でポイントを使って挨拶をすることができている生徒をその都度褒める。
<p>8. グループで話し合い、練習②を振り返る。</p>	<p>○練習②を振り返りましょう。「観察役」の2人は4つのポイントができていたか、どんなところがよかったか、具体的に振り返ってください。4つのポイント以外でもよいところがあったら、伝えてください。</p> <p>○ふり返しシートの練習②の欄に自己評価を記入しましょう。</p> <p>○3回目の練習で、特に気を付けたいポイントを決めます。ふり返しシートを見て記入しましょう。2回目の練習で全部できていた人は5番目に新しくポイントを作ってもいいです。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「観察役」には4つのポイント以外でも、よいと思ったことを伝えさせる。 ・最後の練習では、生徒自身がどのポイントを意識して練習に取り組むかを明確にさせ、練習への動機付けを図る。
<p>9. あいさつのポイントに気を付けながら</p>	<p>○では練習③を行います。ふり返しシートの練習③の欄を見てください。最後の練習は職場</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・全員が終わったら、他の場面に挑戦してもよいことを

	<p>ら、練習③をする。</p> <p>10. グループで話し合い、練習③を振り返る。</p>	<p>の方への挨拶を練習します。「先生役」は「職場の方役」になります。どの場面の挨拶にするかは「生徒役」の人が決めてください。</p> <p>○練習③を振り返りましょう。「観察役」の2人は4つのポイントができていたか、どんなところがよかったか、具体的に振り返ってください。ポイント以外でもよいところがあったら、伝えてください。</p> <p>○ふり返りシートに自己評価を記入しましょう。</p>	<p>伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 練習でポイントを使って挨拶をすることができる生徒はその都度褒める。
<p>ふりかえる</p>	<p>11. 学習のまとめをする。</p>	<p>○今日の活動を振り返ります。ふり返りシートに記入しましょう。</p> <p>○挨拶は、相手が誰なのか、どんな場面なのかによって、アレンジが必要となります。しかし、今日学んだ4つのポイントは変わりません。ポイントを押さえた挨拶で皆さんの友だちの輪が広がるといいですね。</p> <p>○これからしばらくチャレンジ週間を行います。普段の生活の中で、今日の学習が生かされたかどうか確認をしながら、人間関係を築く力を向上させていきましょう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート、ふり返りシートを回収する。 「あいさつ」のスキルの意義を押さえ、定着化の取組(チャレンジ週間)に向けて、生徒の意欲を高める言葉かけをする。 チャレンジ週間の説明をする。 <p>※チャレンジシート参照</p>

モデリングシナリオ

*生徒A役は教師が行う。

場面設定

朝、廊下で友達とすれ違い、あいさつをする。

モデリングⅠ 目を合わせず、小さな声であいさつをする。

お互い、歩いて近づく。

生徒B：〇〇さん、おはよう。

生徒A：(生徒Bから目をそらし、小さな声で、緊張した表情で)
お…おはよう。

モデリングⅡ ポイントを意識してあいさつをする。

お互い、歩いて近づく。

生徒A：(自分から、生徒Bを見て、聞こえる声で、笑顔で)

△△さん、おはよう！

生徒B：〇〇さん、おはよう！

どちらのあいさつの仕方がよかった？

予想される反応：2つ目、後の方など

△△さんに聞いてみます。どちらのあいさつの方がよかった？

予想される反応：2つ目、後の方

2つ目のどんなところがよかったかな？

予想される反応 自分からあいさつをした、相手の顔を見ていた、聞こえる声ではっきり言っていた、笑顔だったなど

*他にも、生徒からあげられたよい点があれば、板書する。

3. 活用場面のアレンジ例

「①あいさつ」のスキルをどのような場面で用いるか、具体的な学校生活の場面をまとめました。ソーシャルスキル・トレーニングを授業で行う際、モデリングやロールプレイのシナリオをアレンジするときの参考にしてください。また、授業後に、スキルの定着化のための働きかけにご利用ください。

- ・朝、会ったとき
- ・廊下ですれ違ったとき
- ・授業で始めと終わりにあいさつをするとき
- ・給食・掃除の始めと終わり
- ・部屋(教室・職員室・事務室・保健室・部室など)に入るとき
- ・帰りに会ったとき
- ・修学旅行や宿泊研修で
- ・部活動で先輩後輩に会ったとき
- ・部活動の始めと終わり
- ・部活動で大会や練習試合に行ったとき
- ・就職や進学の面接試験
- ・職場体験 など